

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公表番号】特表 2019-519342 (P2019-519342A)
【公表日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)
【年通号数】公開・登録公報 2019-027
【出願番号】特願 2019-507075 (P2019-507075)
【国際特許分類】

A 6 1 B 17/3207 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/3207

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 10 日 (2020.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血管から血栓を除去するための機械的な血栓除去装置であって、
近位端、遠位端および遠位端開口を有するカテーテルと、
可撓性チューブを含むトラクタであって、前記可撓性チューブが、前記カテーテル内に延び、前記カテーテルの遠位端開口で反転し、前記カテーテルの遠位端上に延びるものであり、前記トラクタが、前記トラクタの第 1 の端部が前記カテーテル内で近位方向に引っ張られたときに、前記カテーテルの遠位端開口で折り返されることにより反転するように構成された、トラクタと、

近位端および遠位端を有するブラーであって、前記遠位端よりも近位側にある領域で前記トラクタの第 1 の端部が連結されるとともに、前記カテーテル内において前記カテーテルの近位端まで延在するブラーと、

前記カテーテル、ブラーおよびトラクタを通して延び、ガイドワイヤを通すように構成されたガイドワイヤルーメンとを備え、

前記ブラーの遠位端と、前記トラクタの第 1 の端部が連結される前記ブラーの領域との間の距離が 2 mm 以上であることを特徴とする装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置において、

前記ブラーの遠位端と前記遠位端開口との間にストッパをさらに備えることを特徴とする装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の装置において、

前記ブラーの遠位端と前記トラクタの第 1 の端部との間の前記ブラー上にストッパをさらに備え、前記トラクタの第 1 の端部が、前記ストッパと係合するまで前記ブラー上をスライドするように構成されたスライドラングに結合されていることを特徴とする装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の装置において、

前記ブラーの近位端が真空源に結合されるように構成されていることを特徴とする装置

。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の装置において、
前記ブラーの近位端が、Tuohy - Bors t バルブ / 回転止血バルブ (R H V) を
含むことを特徴とする装置。